

学校教育目標

日本国憲法、教育基本法、学校教育法の精神、国及び東京都、豊島区教育大綱、豊島区教育ビジョンを踏まえ、人権尊重の精神を基調に、将来への希望をもって生涯学び続ける、心身共に健康でたくましい、国際性豊かな児童の育成を目指す。

目指す児童の姿【育成を目指す資質・能力】

豊島区が掲げる「豊島区のすべての子どもの学習意欲とウェルビーイングが向上している」に向けて確実に取り組んでいくために、以下の通り本校の目指す児童の姿を設定する。特に、一人一人の学びに向かう力を高め、子供たちが個別最適かつ協働的に学ぶ姿を目指すことを重点とし、「考える子」を令和8年度の重点目標とする。

- 思いやりのある子（徳） --- 周囲の状況や相手の気持ちを考え、行動する。
- 考える子（知） ----- 課題を主体的・対話的に追究し、実生活に生かそうとする。（R8 重点目標）
- やりとげる子（徳） ----- 学んだ知識や技能を活用し、課題に粘り強く取り組む。
- 元気な子（体） ----- 心身の健康について理解し、その向上に進んで取り組む。

目指す学校像

明日も 通いたくなる さくら小

実現に向けて

こんな授業を目指してほしい

- 主体的・対話的で深い学びの実現
- 個別最適な学びと協働的な学びの充実
- 分かりやすい授業から分かりたくなる授業へ
- 「やらされる」から「自分で学ぶ」への転換
- タブレット端末の積極的・効果的な活用
- 専門性向上と教材研究を楽しもう!!

こんな学校生活を目指してほしい

- 安心・安全に過ごすことのできる学校生活
- 困ったことや弱みを相談できる人がいる場
- 人権を守り合い、互いを尊重し合える雰囲気
- 取組が家庭・地域によく伝わっている環境
- アイデアやチャレンジにあふれる豊かな創造性
- 「会いたい」「やりたい」がたくさんある毎日

こんな教職員であってほしい

- 参画意識をもち、主体的に行動する教職員
- 子供たちの成長とともに喜び合える教職員
- 向上心をもち、自己研鑽に励む教職員
- 子供に寄り添い、保護者・地域に信頼される教職員
- 規律意識と誇りをもって職務に取り組む教職員
- 自分自身の夢の実現を目指す教職員

具体的な取り組み「4本の柱」

考え実行する力を育む教育活動
「主体的・対話的で
深い学びの実現」

- ◎ 教科担任制・チーム学校の充実
- ◎ 探究的な学びの充実
- ◎ 問いを大切にした主体的な学び
- ◎ 多様な形態による対話的な学び
- ◎ ICT 活用による協働的な学び・個別最適な学びの充実
- ◎ 多様な子供に対する支援の充実
- ◎ 個別最適な学びと授業のユニバーサルデザイン化の推進
- ◎ 体力向上と健康教育の推進
- ◎ 学校図書館の活用
- ◎ 外国語コミュニケーション能力
- ◎ 議論する道徳教育の充実

安全・安心な学校づくり
「心理的安全性の高い
環境の構築」

- ◎ 人権尊重教育の推進
- ◎ アレルギー対応の徹底
- ◎ さくらしぐさ・さくらルールを活用
- ◎ 学級・学年・学校への所属感向上
- ◎ 多角的・多面的な児童理解
- ◎ 予防型による先回りの生活指導
- ◎ 「できて当たり前」を褒める指導
- ◎ 自己肯定感・自己有用感の育成
- ◎ 児童参画による社会性の醸成
- ◎ 合意形成や意思決定の経験
- ◎ 防災・防災への意識向上
- ◎ デジタル・シティズンシップの育成

家庭・地域との連携・協働
「社会に開かれた
学校づくり」

- ◎ 地域と連携した教育活動の開発
- ◎ コミュニティ・スクールの充実
- ◎ 保幼小連携・小中連携
- ◎ 地域施設の活用による体験活動
- ◎ 地域人材によるゲストティーチャー
- ◎ 防災・防犯に対する地域連携
- ◎ 教育活動の発信による理解促進
- ◎ 多様な視点による学校評価
- ◎ PTA・地域との協働
- ◎ キャリア教育の協働的な推進

誇りをもって取り組むチームさくら
「教師は
最も大きな教育環境」

- ◎ 校務の DX 化による業務効率化
- ◎ 服務規律への高い意識
- ◎ 活躍の場を広げる校務分掌
- ◎ 校務改善への主体的な姿勢
- ◎ 相互に高め合う教員集団
- ◎ 自分事として取り組む校内研究
- ◎ 課題に合わせた研修の活用
- ◎ ライフワークバランス
- ◎ 対話と実践による自己研鑽
- ◎ 学び続けるモデルとしての意識